

知事が目指す 三重の教育・人づくり

津田 健児 議員
(自民みらい/四日市市選出)



問

地方自治法上、知事と教育委員会は互いに独立した機関であります。教育行政の執行に当たっては、両者が独自に行うのではなく、密接な連携が必要とされています。知事は、唯一選挙で選ばれた県民の思いに近い存在で、県民に対し、教育委員会よりもより重い責任を持つていると思えますが、教育、人づくりについて、知事の意気込みと覚悟をお聞かせください。



教育改革推進会議

答

次世代育成は欠かせない未来への投資であり、学力と規範意識を身に付ける機会を保障すべく、教育再生に取り組みという思いに変わりはありません。

教育改革推進会議での議論を踏まえ、教育の一層の向上に向け、教育関係者をはじめ、県民全体が当事者として力を結集し、取り組みを進めていきたいと考えます。

その他の質問事項
○外国人との多文化共生問題 ほか

「みえ産業振興戦略(仮称)」の 取り組み方向

藤田 宜三 議員
(新政みえ/鈴鹿市選出)



問

大量生産・大量消費など社会の④パラダイム転換に伴う産業構造の見直し避けられない中、脆弱になっている県内の産業構造を認識した上で、産業政策の展開が求められます。

今後検討される「みえ産業振興戦略(仮称)」では、このような産業界を取り巻く外部環境の変化などを踏まえ、どのような取り組み方向で検討していくのかお聞かせください。

答

「国際競争力のある産業の振興と育成」や「内需を取り込める産業の振興と育成」という方向性の下、今後、検討の場として外部委員を含む「みえ産業振興戦略検討会議(仮称)」を設置し、関係者のご意見も伺った後、来年6月頃に「みえ産業振興戦略(仮称)」として取りまとめたいと考えています。

その他の質問事項
○三重県農政 ほか



台風12号で被災した 農家に支援を

大久保 孝栄 議員
(鷹山/熊野市・南牟婁郡選出)



問

台風12号では、東紀州の基幹産業であるみかんをはじめとした農家が相当な被害を受け、農機具の損害のほか農地も泥で埋まり、再開のめどが立たないところも多くあります。再建に向けた具体的な支援策をお聞かせください。

答

激甚災害指定による特別の助成措置が適用されるほか、機械や施設については融資制度を活用できます。今後、国による支援を活用するほか、県としても、必要な支援策を検討していきます。

地球温暖化防止条例

今井 智広 議員
(公明党/津市選出)



問

地球温暖化による近年の環境変化が我々の生活に厳しい影響を与えています。環境に恵まれた三重県で、県民、事業者、市町の皆さんと一致団結した地球温暖化防止の取り組みを進めるため、地球温暖化防止条例を制定すべきです。

答

エネルギー問題等を含めた総合的観点から、地球温暖化対策に特化した条例の制定を、既に制定している17道府県の取り組みを参考にしながら、前向きに検討していきたいと考えます。

用語解説

1 木質バイオマス

「バイオマス」とは、生物資源(bio)の量(mass)を表す言葉であり、「再生可能な、生物由来の有機性資源(化石燃料は除く)」のことを呼ぶ。

その中で、木材からなるバイオマスのことを「木質バイオマス」と呼ぶ。

木質バイオマスには、主に、樹木の伐採や造材のときに発生した枝、葉などの林地残材、製材工場などから発生する樹皮やのこ屑などのほか、住宅の解体材や街路樹の剪定枝などの種類がある。

2 メタンハイドレート

永久凍土層や深海下の地層等、低温高圧の条件下で存在しており、水分子の結晶構造の中に、メタン分子が取り込まれた水状の固体物質。見た目は氷のようで、火をつけるとそのまま燃焼するので、「燃える氷」とも呼ばれている。三重県の周辺では、東海沖から熊野灘の海底面に存在する。

3 二次救急医療

救急医療は、患者の重症度により初期、二次、三次の体制で対応することとなっており、二次救急医療機関は、「入院治療を必要とする患者」に対応する。

4 パラダイム転換

これまでの考え方やシステムを見直し、新しい時代に対応した考え方、システムを構築すること。